

浄化槽設置工事点検票

検査項目	チェックのポイント	欄
1 流入管渠及び放流管渠の勾配	汚物や汚水の停滞はないか。	
2 放流先の状況	放流口と放流水路の水位差が適切に保たれ、逆流のおそれはないか。	
3 誤接合等の有無	生活排水がすべて接続されているか。	
	雨水や工場廃水等が流入していないか。	
4 弁の位置及び種類	起点、屈曲点、合流点及び一定間隔ごとに適切な弁が設置されているか。	
5 流入管渠、放流管渠及び空気配管の変形及び破損のおそれ	管の露出等により変形及び破損のおそれはないか。	
6 かさ上げの状況	バルブの操作等の維持管理を容易に行うことができるか。	
7 浄化槽本体の上部及びその周辺の状況	保守点検及び清掃が行いにくい場所に設置されていないか。	
	コンクリートスラブが打たれているか。	
8 漏水の有無	漏水を生じていないか。	
9 浄化槽本体の水平の状況	水平が保たれているか。	
10 接触材等の変形、破損及び固定の状況	嫌気ろ床槽のろ材及び接触ばっ気槽の接触材に変形や破損はないか。	
	固定は確実にされているか。	
11 ばっ気装置、逆洗装置及び汚泥移送装置の変形、破損、固定及び可動の状況	各装置に変形や破損はないか。	
	固定は確実にされているか。	
	空気の出方や水流に片寄りはないか。	
12 消毒設備の変形、破損及び固定の状況	消毒設備に変形や破損はないか。	
	固定は確実にされているか。	
	薬剤筒は傾いていないか。	
13 ポンプ設備（流入ポンプ及び放流ポンプ）の設置及び可動状況	ポンプますに変形や破損はないか。	
	ポンプますに漏水のおそれはないか。	
	ポンプが 2 台以上設置されているか。	
	計画どおりの能力のポンプが設置されているか。	
	ポンプの固定が十分行われているか。	
	ポンプの取りはずしが可能か。	
	ポンプの位置や配管がレベルスイッチの可動を妨げるおそれはないか。	
14 ブロワーの設置及び可動状況	防振対策がなされているか。	
	固定が十分行われているか。	
	アースはなされているか。	
	漏電のおそれはないか。	

設置者 \_\_\_\_\_ の浄化槽（名称 \_\_\_\_\_ 認定番号 \_\_\_\_\_ 登録番号 \_\_\_\_\_ ）  
 設置が完了し、上記のとおり確認したことを証します。  
 平成 \_\_\_\_ 年 \_\_\_\_ 月 \_\_\_\_ 日 担当浄化槽設備士氏名 \_\_\_\_\_ 印 \_\_\_\_\_  
 (浄化槽設備士免状の交付番号 \_\_\_\_\_ )